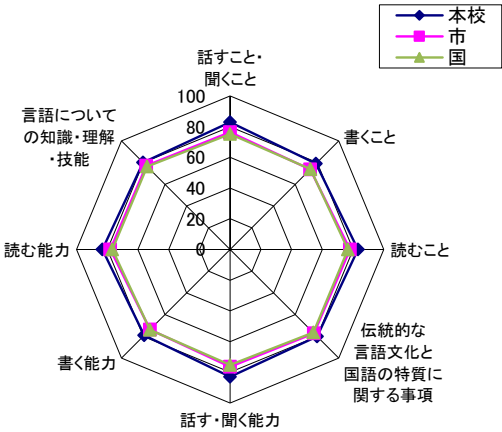


宇都宮市立星が丘中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

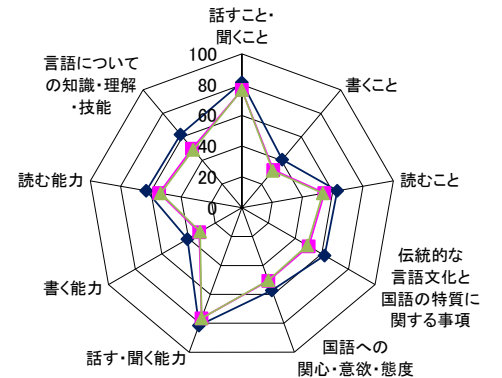
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	82.9	76.4	75.2
	書くこと	79.0	73.7	73.9
	読むこと	83.2	78.0	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.2	77.2	76.5
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	82.9	76.4	75.2
	書く能力	79.0	73.7	73.9
	読む能力	83.2	78.0	76.7
	言語についての知識・理解・技能	80.2	77.2	76.5



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	81.5	76.5	76.6
	書くこと	40.9	31.9	31.3
	読むこと	63.0	54.5	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	62.1	50.2	49.2
観点	国語への関心・意欲・態度	57.3	50.6	50.3
	話す・聞く能力	81.5	76.5	76.6
	書く能力	40.9	31.9	31.3
	読む能力	63.0	54.5	53.5
	言語についての知識・理解・技能	62.1	50.2	49.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 A問題6二「話し合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く」、B問題2三「ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する」では、全国・市の平均を10ポイント程度上回っている。 ●先ほど挙げたA問題6二は、正答率のポイントが高い一方で、無回答率が10.3%と高い。	・今後も授業の中で、ペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、自分の意見を述べる機会を増やしていく。また、問題意識をもって相手の話を聞き、自分の考えと比較しながら聞くようにさせる。また、司会進行・発言者・記録者など役割分担をローテーションさせるなどして、適切な発言をしたり、要点を抑えながら聞く力を身に付けさせる。
書くこと	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 B問題3三「話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く」では、全国・市の平均を12.9ポイント上回っている。 ●B問題の記述式の無解答率が4.7%になっており、他はほとんど1%弱程度の中、やや高い傾向にある。	・選択式や短答式は正答率が高いので、文章を書く手順や構成については理解していると思われる。しかし、それを実際に自分で書くことには反映できていない部分があるため、日ごろから書く学習を意図的に設け、書かせたものは自己・相互評価させたり、個別にチェックしたりして、課題に対して自分の考えを適切に表現ができるように指導していきたい。
読むこと	○全ての設問で全国及び市平均を上回っている。 ●B問題1一「グラフからわかることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する」の正答率が63.1%で、全国・市よりも18ポイント程度高いものの、他の設問が約80%以上の正答率であるのと比べると低い。	・図表やグラフなどに触れる機会を増やすことにより、何が読み取れるのかを丁寧に確認していく。その際には、発問やワークシートを工夫したり、グループ学習で考えを深めたりさせる。また、グラフから情報を読み取るだけでなく、そこから自分の考えを持てるように指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○ほとんどの設問で全国及び市平均を上回っている。 昨年に比べると、10ポイントほど高くなっている。 ●A問題の文脈に即して漢字を正しく書く問題は、正答率が70%台となっており、その他の言語問題の正答率は90%台であるのに対し、低めである。また、無回答率も13～23%と、高くなっている。	・漢字については、小テストを実施し続けることにより、漢字に対する意識を高め続けていく。また、正答率の低かった書き取り問題に対しては、解説を行っていく。また、作文指導の際には丁寧に漢字のチェックをすることにより、漢字の能力、あるいは語彙力を向上させたい。